

# 基本操作編

---

電話のかけかた / 受けかた .....	70
電話に出られないときの対応方法を設定する .....	81
テレビ電話のかけかた / 受けかた .....	87
電話帳を利用する .....	106
マナーモードを設定する .....	135

# 電話をかけます

電話番号をダイヤルして音声電話をかけます。

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機に電話をかけることはできません。

## 1 相手の市外局番からダイヤルする



同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

**市外局番** - **市内局番** - **電話番号**

携帯電話にかける場合

090 - x x x x - x x x x

または

080 - x x x x - x x x x

PHSにかける場合

070 - x x x x - x x x x

## 2 を押す

「」が点灯します。

電話番号が一度消えた後、右端から表示されて電話がかかります。

 [発信] を押しても電話をかけることができます。

「ツーツー」という話中音が聞こえる場合

相手が話し中です。 を押して、しばらくたってからおかけ直してください。

電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合

相手の携帯電話またはPHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。 を押して、しばらくたってからおかけ直してください。

電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合

相手が番号通知お願いサービス「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直してください。 P.66

## 3 お話しが終わったら を押す

### おしらせ

iモード中またはメールの送受信中でも電話をかけることができます。

通話中に通話中画面以外の画面を表示させた場合、 を押すと通話中画面に戻ります。

操作1と2が逆でも電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは を押して表示を消してからおかけ直してください。

発信中または通話中に [ハンズフリー] を押すとハンズフリーに切り替わります。ハンズフリーに設定すると、相手の音声をスピーカから流して通話できます。ただし、ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。再度 [ハンズフリー] を押すとハンズフリーを解除します。

通話中の相手に内蔵カメラで撮影した静止画を送信すること(スピードフォトメール)もできます。

『アプリケーション編』のP.167

回線が混雑しているときなどには、「しばらくお待ちください」と表示される場合があります。このような場合は、しばらくたってからおかけ直してください。

## 電話番号の入力を間違えたとき

番号を挿入する場合

☎を押して挿入したい位置の1つ右の番号にカーソルを移動して番号を入力します。

番号を削除する場合

☎を押して削除したい番号にカーソルを合わせて☎CLRを押します。

☎CLRを1秒以上押しすと、カーソル位置を含め、その右側にあるすべての番号が削除されます。

番号をすべて訂正する場合

カーソルを番号の先頭か最後に合わせて☎CLRを1秒以上押しします。待受画面に戻ります。

## 通話中に保留にします

< 通話中保留 >

通話中の電話を保留にできます。

### 1 通話中に☎CLRを押す



相手に保留音流れます。

保留中に電話を切る場合

☎CLRを押す

保留中に相手が電話を切った場合

通話が切れます。

### 2 電話に出られるようになったら、☎CLR、☎または☎[通話]を押す

#### お知らせ

通話保留中に流れる保留音は「保留音選択」で設定できます。 P.158

「着信音量」の「電話 / TV電話」を「消去」に設定している場合や「マナーモード」に設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合、または「電話着信音量」を「消去」にしている「オリジナルマナー」の場合、保留中はミュート(消音)で動作します。

「クローズ動作設定 ( P.160 )」を「終話」以外に設定している場合は、FOMA端末を閉じても通話を保留にできます。

## 前にかけた電話番号にかけ直します

リダイヤルで一度かけた音声電話やテレビ電話をかけ直すことができます。相手が話し中などで、もう一度かけ直すときに便利です。

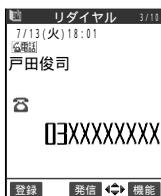
リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。

同じ電話帳の同じ電話番号にかけたときは、1件として最新のものが記憶されます。

30件を超えた場合は、古いものから順に上書きされます。

シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたときは、リダイヤルに記憶されません。

## 1 ④を押してかけ直したい電話番号を選ぶ



選択したリダイヤルの詳細画面が表示されます。

画面右上には「現在のリダイヤル番号 / 全体のリダイヤル件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かけた電話番号となります。

前後のリダイヤルを表示する場合  
リダイヤルの詳細画面で④を押すたびに、2件目、3件目とリダイヤルがさかのぼって表示されます。  
⑤を押すたびに、30件目、29件目と新しいリダイヤルへと順番に表示されます。

電話帳に登録した電話番号の場合  
名前が登録されていると、その名前も一緒に表示されます。

## 2 ⑥または⑦ [発信] を押す

テレビ電話をかける場合

⑧を押す

## 3 お話しが終わったら⑨を押す

## おしらせ

「PIMロック」設定中は、電話帳に名前やアイコンが登録されている相手への電話でも、電話番号だけが記憶されます。

前にかけた電話番号は「発信履歴 ( P.151 )」にも記憶されます。同じ番号にかけた場合でも「発信履歴」では別の1件として、電話をかけたときの情報が記憶されます。

「時計設定」で日付・時刻を設定していない場合は、発信した日付・時刻が表示されません。

リダイヤルでは発信履歴 / 着信履歴と同じように、機能メニューから記憶されている電話番号を電話帳に登録したりiモードメールを作成して送信したりできます。 P.151

## リダイヤルを削除します

電源を切ってもリダイヤルは削除されません。ほかの人に見られたくないときは、リダイヤルを削除してください。

### 1 削除したいリダイヤルを表示する

### 2 機能メニューから「1件削除」を選ぶ



複数のリダイヤルを選んで削除する場合

機能メニューから「選択削除」を選んで削除するリダイヤルを選ぶ

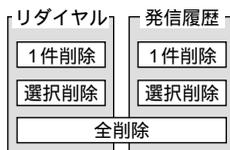
リダイヤルをすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

#### お知らせ

「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。

発信履歴について P.151



## WORLD CALL

## 国際電話のご利用について

WORLD CALLとはドコモのデジタル方式携帯電話をご契約のおお客様がご利用いただける国際電話サービスです。

### WORLD CALLについて

- ・通話先は世界約220の国と地域です。
- ・「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
- ・お申込手数料・月額使用料は無料です。
  - ：「WORLD CALL」はFOMAサービスをご契約のおお客様はお申し込み不要でご利用いただけます。

## 国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順(下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの)ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先	
WORLD CALL	ドコモの携帯電話、PHSからの場合 (局番なしの) <b>151(無料)</b> 一般電話からはご利用になれません。
	 0120-800-000 ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

## 1 009130 - 010 - 国番号 - 市外局番 - 相手先電話番号の順にダイヤルする

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話におかけになる場合は「0」が必要です。

## 2 を押す

## 3 お話しが終わったら を押す

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様<sup>1</sup>に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。<sup>2</sup>

- 2004年2月現在、Hutchison3GUK(イギリス)と通信可能。
  - 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 1・2：詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

### お知らせ

「009130-010」は「プレフィックス設定(P.149)」にあらかじめ登録されています。ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

## 簡単な操作で国際電話をかけることができます

お買い上げのときには、「プレフィックス設定」に「WORLD CALL」が設定されているので、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

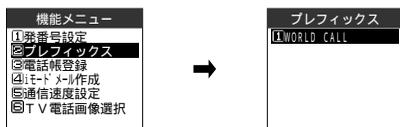
### 1 相手先の番号をダイヤルする

国番号 - 市外局番 - 相手先電話番号をダイヤルします。

電話帳に登録されている相手先の番号を表示する場合

電話帳の検索のしかた P.116

### 2 機能メニューから「プレフィックス」-「WORLD CALL」を選ぶ



### 3 を押す

国際電話がかかります。

## 電話を受けます

かかってきた音声電話を受けます。

### 1 電話がかかってきたら または [通話] を押して、電話を受ける



電話がかかってくると着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

「バイブレータ」を「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。

着信中に意図的に電話を切りたい場合

機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

着信中の電話を転送する場合

機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ

「転送でんわサービス」の「開始/停止」にかかわらず転送先に接続します。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターへ接続する場合

機能メニューから「留守番電話」を選ぶ

「留守番電話サービス」の「開始/停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。

ハンズフリーに切り替える場合

通話中に  [通話] を押す

## 2 お話しが終わったら を押す

### おしらせ

、 [ 通話 ] 以外に  ~ 、、、、、 のいずれかのボタンを押しても電話を受けることができます(エニーキーアンサー)。また、ボタンを押すと着信音だけがとまるように設定することもできます。 P.159

着信中に  または  [ メモ / 確認 ] を押すと、「マナーモード」になり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録音することができます。 P.136

電話帳に登録されている相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話番号と相手の名前が表示されます。また、電話帳に画像が登録されている場合は、その画像が表示されます。ただし、シークレットデータとして登録されている場合( P.201 )は名前や画像は表示されず、電話番号のみが表示されます。また、電話番号を通知してこない相手の場合は、その理由(発信者番号非通知理由)が表示されます。

電話の着信は「着信履歴」に30件まで記憶されます。相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。

「キャッチホン」をご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に、「キャッチホン」を「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「プブ...プブ...」という通話中着信音が鳴り、次の動作が可能です。

- ・通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。
- ・「留守番電話サービス」をご契約されている場合は、留守番電話サービスセンターへ転送できます。
- ・「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、転送先へ転送できます。

詳しくはP.279を参照してください。

転送されてきた電話の場合は、転送元と発信元の電話番号が表示されます。ただし、転送元によっては転送元の電話番号が表示されないことがあります。

ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機からFOMA端末へ電話をかけることはできません。

## 不在着信や新着メールを確認します

FOMA端末を折り畳んだままで、不在着信や新着メールがあるかどうかを、音や振動、着信ランプの点灯 / 点滅で確認できます。

本機能は待受画面に「不在着信あり」または「新着メールあり」のデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。

次のような場合、本機能で不在着信や新着メールを確認できません。

- ・オールロック設定中
- ・サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合
- ・PIMロック設定中
- ・確認機能設定を「OFF」に設定している場合

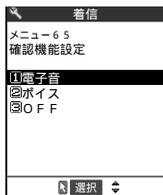
## 確認結果のお知らせのしかたを設定します < 確認機能設定 >

お買い上げ時 電子音

1



「着信」▶「確認機能設定」の順に選ぶ



電子音で知らせる場合

「電子音」を選ぶ

声(ボイスモニター)で知らせる場合

「ボイス」を選ぶ

確認の機能をOFFにする場合

「OFF」を選ぶ

## 不在着信や新着メールがあるか確認します

FOMA端末を折り畳んだ状態で $\square$ メモ/確認を押すと、不在着信や新着メールを確認できます。

確認動作は次のとおりです。

確認機能設定	不在着信や新着メールがある場合		不在着信や新着メールがない場合	
	音と振動	着信ランプの色	音と振動	着信ランプの色
電子音	「ピビ、ピビ」という音が鳴り、約1秒間振動します。	「着信イルミネーション」の「電話」、「メール」でそれぞれ設定されている色が約5秒間点灯します。	「ピビピビ」という音が鳴り、約0.2秒間振動します。	着信ランプが「色12」で約5秒間点滅します。
ボイス(ボイスモニター)	「ピビ」という音が鳴ったあと、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」と声で知らせ、約1秒間振動します。	不在着信、新着メールが両方あるときは、それぞれの色が交互に点滅します。		

: 「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」で点滅します。

### おしらせ

iモードセンターに蓄積されている新着メールを本機能で確認することはできません。

ボイスモニターの声はFOMA端末を開くか、 $\square$ ホーム または  $\square$ メモ/確認 のいずれかを押すことでとまります。

「ボイス」の音量は「着信音量」(P.79)の「電話/TV電話」で設定した音量になります。「ステップ」に設定されている場合は「レベル2」の音量になります。「消去」に設定されている場合は音が鳴りません。

「パイプレータ」(P.167)の「電話」を「OFF」に設定している場合は振動しません。

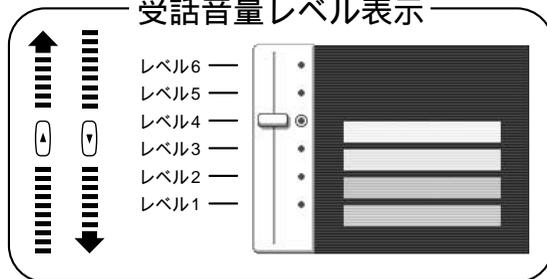
マナーモード設定中(P.135)は音が鳴らず、振動でお知らせします。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴り、「パイプレータ」を「OFF」に設定している場合は振動しません。

# 相手の声の音量を調節します

お買い上げ時 レベル4

通話中の相手の声の大きさを「レベル1（最小）～「レベル6（最大）」の6段階で調節できます。

## 受話音量レベル表示



テレビ電話中やハンズフリーのときも調節できます。

着信中は調節できません。

## 通話中に調節します

### 1 通話中に $\uparrow$ または $\downarrow$ を押す

「ピッ」という音が鳴り、受話音量画面が表示されます。

### 2 受話音量を調節する



音量を1レベル上げる場合

$\uparrow$ を押す

音量を1レベル下げる場合

$\downarrow$ を押す

$\uparrow$ または $\downarrow$ を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。

受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、通話中の画面に戻ります。

## お知らせ

通話中に $\odot$ または $\ominus$ を1秒以上押しても同じように調節できます。

## 待受中に調節します

- 待受中に  または  を1秒以上押す
-  または  を押して受話音量を調節する
  - 音量を1レベル上げる場合  
 を押す
  - 音量を1レベル下げる場合  
 を押す
  -  または  を1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。  
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、待受画面に戻ります。

## 着信音の音量を調節します

お買い上げ時 | 電話 / TV電話 : レベル4 | メール / メッセージ : レベル4

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メールやメッセージリクエスト / フリーを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節できます。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくする(ステップトーン)こともできます。

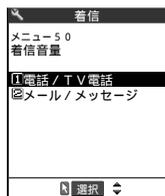
着信中は調節できません。

本機能で設定した「電話 / TV電話」の着信音量は、「ムービープレーヤー」、「メロディプレーヤー」、音声電話やテレビ電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「ToDo」のアラーム音、サイトからダウンロードしたメロディの再生音量などに反映されます。

本機能で設定した「メール / メッセージ」の着信音量は、メール、メッセージリクエスト / フリーそれぞれの「着信音選択」や電話帳便利機能の「メール着信音」などの着信音一覧で鳴る音量などに反映されます。

-   「着信」▶「着信音量」の順に選ぶ

- 着信音量を調節したい項目を選ぶ



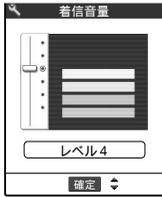
音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信音量を調節する場合

「電話 / TV電話」を選ぶ

iモードメール、SMS、メッセージリクエスト / フリー、パケット通信の着信音量を調節する場合

「メール / メッセージ」を選ぶ

### 3 着信音量を調節する



音量を1レベル上げる場合

⊕を押す

音量を1レベル下げる場合

⊖を押す

ステップトーン(次第に音を大きくする)に設定する場合

レベル6のときに⊕を押す

ステップトーンのときに着信すると、3秒ごとに無音、ステップ1～6の順で着信音量が大きくなります。

着信音を消すように設定する場合

レベル1のときに⊖を押す

消去に設定すると、着信音が鳴らなくなります。

待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。

**S** : 「電話 / TV電話」のみ「消去」に設定したことを示します。

**S** : 「メール / メッセージ」のみ「消去」に設定したことを示します。

**S** : 「電話 / TV電話」と「メール / メッセージ」の両方を「消去」に設定したことを示します。

#### 車載ハンズフリー

## ハンズフリー対応機器が利用できます

ハンズフリー対応機器(カーナビゲーションなど)とFOMA端末を接続することで、ハンズフリー対応機器から音声電話やテレビ電話の発着信などの操作ができます。

ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。

ハンズフリー対応機器を接続し、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、音声電話 / テレビ電話やメールなどの着信時にはハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。

ドライブモード設定中の着信動作は、「ドライブモード (P.82)」の設定に従います。

伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ (P.84)」の設定に従います。

ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、通信速度はハンズフリー対応機器の設定に従います。設定されていない場合、通信速度は「64 K」になります。

ハンズフリー対応機器を接続し、FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定 (P.160)」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。

本機能は、ハンズフリー対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。2004年3月現在、ハンズフリー対応機器はリリースされておられません。

# すぐに電話に出られないとき保留にします

着信中、すぐに電話に出られないときは、応答保留して相手にしばらく待ってもらうことができます。

応答保留中でも、相手に通話料金がかかります。

## 1 着信中に を押す



音声電話の場合

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直してください」というガイダンスが流れます。

応答保留中に電話を切る場合

 を押す

応答保留中に相手が電話を切った場合  
通話が切れます。

## 2 電話に出られるようになったら、 または [通話] を押す

「着信アンサー設定 (P.159) を「エニーキーアンサー」に設定している場合は  ~ 、、、、、、 を押しても電話に出ることができます。

### お知らせ

応答保留中に流れるガイダンスは「保留音選択」で設定できます。 P.158

64Kデータ通信中に電話がかかってきたときは、応答保留にはできません。

「着信音量 (P.79) の「電話 / TV電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中 (P.135) は、応答保留にしたときの「ピッピッピッ」という音は鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は音が鳴ります。

## 自動車の運転中は電話を受けられないようにします

電話に出られないときの  
対応方法を設定する

ドライブモード(運転中ガイダンス機能)は、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、相手に運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

ドライブモードの設定/解除ができるのは、待受画面表示中のときのみです。画面に「圏外」が表示されているときも設定/解除はできます。

ドライブモードを設定していても電話をかけることができます。

## ドライブモードに設定します

1 待受画面表示中に<sup>①</sup>を1秒以上押す

ドライブモードに設定したことを通知するメッセージが表示され、待受画面に「」が表示されます。

## ドライブモードを解除する場合

ドライブモードが設定されている状態で、待受画面表示中に<sup>②</sup>を1秒以上押す

ドライブモードを解除したことを通知するメッセージが表示され、「」の表示が消えます。

ドライブモード

## お知らせ

「伝言メモ(P.84)」を「ON」に設定していてもドライブモードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。

ドライブモード設定中に緊急通報番号(110番、119番、118番)へ音声電話をかけると、ドライブモードを解除することを通知するメッセージが表示され、ドライブモードが解除されます。

ドライブモード設定中には、次の音が鳴りません。

- ・音声電話/テレビ電話着信音
- ・メッセージリクエスト/フリー着信音
- ・スケジュールのアラーム音
- ・電池切れアラーム音
- ・iアプリのソフトの鳴動
- ・メール着信音
- ・めざましのアラーム音
- ・ToDoのアラーム音
- ・充電確認音

## ドライブモード設定中の着信動作

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。「着信履歴(P.151)」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

また、メールを受信したときや64Kデータ通信を着信したときも着信音は鳴りません。音声電話をかけてきた相手には運転中のため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、画面に運転中のため電話に出られないことを通知するメッセージが表示されて通話を終了します。ただし、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、運転中の通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

## 各ネットワークサービスとドライブモード設定中の着信動作

ドライブモードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、次のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、伝言メッセージをお預かりします。 <sup>1</sup>	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。相手には運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に運転中のガイダンスを流した後、転送先に転送します。 <sup>2</sup>	テレビ電話でも転送でんわサービスを利用できます。転送でんわサービスが優先され、かかってきたテレビ電話をすぐに転送先に転送します。 <sup>3</sup>
迷惑電話ストップサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に着信拒否ガイダンスを流した後、通話を終了します。</li> <li>それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。</li> </ul>	<p>テレビ電話でも迷惑電話ストップサービスを利用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迷惑電話拒否登録している電話番号の場合は、迷惑電話ストップサービスが優先され、相手に着信拒否ガイダンスを流さずに通話を終了します。</li> <li>それ以外の電話番号の場合は、相手に運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。</li> </ul>
番号通知お願いサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流した後、通話を終了します。</li> <li>相手が電話番号を通知している場合は、相手に運転中のガイダンスを流した後、通話を終了します。</li> </ul>	テレビ電話では番号通知お願いサービスを利用できません。相手には運転中であることを通知するメッセージを表示した後、通話を終了します。

- 留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、ドライブモードガイダンスは流れません。
- 転送先を3G-324M(P.87)に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

## 電話に出られないときに相手の用件などを録音できるように設定します

お買い上げ時 伝言メモ：OFF 応答メッセージ：標準 呼出時間：8秒

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音しておくことができます。

録音する前に流れる応答メッセージを選ぶことができます。

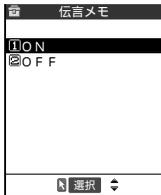
録音できる件数は5件、録音時間は1件につき約20秒間です。

伝言メモを「ON」に設定していなくても、「クイック伝言メモ（P.136）」で伝言メモを開始することができます。

## 伝言メモを設定します

1   「伝言メモ」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ



伝言メモを設定する場合

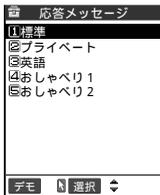
「ON」を選ぶ

操作3に進んでください。

伝言メモを設定しない場合

「OFF」を選ぶ

3 応答メッセージを選ぶ



標準

：「ただいま電話に出ることができません。ピーツという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話してください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」と流れます。

プライベート

：「せっかく電話をもらったけど、いま出られませんが。ピーツという発信音の後にメッセージを入れてね。テレビ電話のときも声しか入らないの。ごめんね。」と流れます。

英語

：「I can't take your call now. Please leave the message. When you call by video phone, you can leave a voice message.」と流れます。

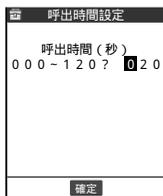
おしゃべり1、2：「おしゃべり機能（P.247）で録音した音声流れます。

録音されていないときは「おしゃべり1」、「おしゃべり2」は表示されません。

応答メッセージを反転表示して  [デモ] を押すとメッセージがスピーカから流れます。

# 4

## 呼出時間を000～120秒の範囲で入力する



時間は3桁で入力します。000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。3桁の時間を入力すると、自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「」が表示されます。

表示されている時間をそのまま設定する場合  
時間を入力しないで  [確定] を押す

電話に出られないときの  
応対方法を設定する

伝言メモ

### おしらせ

伝言メモの呼出時間は「遠隔監視設定」または「オート着信」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。

「留守番電話サービス」(P.271)や「転送でんわサービス」(P.276)を同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。

「電話帳便利機能」で電話番号ごと、「グループ便利機能」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

## 伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると



設定した時間を経過すると伝言メモが開始され、相手には設定した応答メッセージが流れます。テレビ電話の場合は「伝言メモ/Record Msg. <音声録音中/Voice Only>」のメッセージ画像も送信します。

伝言メモの録音が始まると、録音中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

音声電話に出る場合

 または  [通話] を押す

テレビ電話に出る場合

カメラ映像で出るときは  を押し、代替画像で出るときは 

または  [通話] を押す

録音が終わると元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。

1件録音されると「」が「」の表示に変わり、2件録音されると「」、3件録音されると「」...と表示されます。

伝言メモの再生/消去のしかた P.245

## お知らせ

「」が表示されているときは伝言メモを利用できません。

テレビ電話がかかってきたときも、音声のみの伝言メモとして録音されます。

「PIMロック」設定中は、本機能の設定は「OFF」となり、「」および「伝言メモあり」のデスクトップアイコンは表示されません。

録音件数が5件になると、次にかけてきた相手の用件を伝言メモで録音することはできません。また、相手に応答メッセージも流れません。次の用件を録音できるようにするには、すでに録音されている伝言メモを消去してください。 P.246

「伝言メモ」を「ON」に設定していなくても、「伝言メモ」を「ON」に設定している「オリジナルマナー」でマナーモードに設定しておけば、伝言メモで相手の用件を録音できます。ただし、伝言メモがすでに5件録音されているときは、マナーモードで設定した動作で着信します。

「留守番電話サービス」を設定している場合は、伝言メモが5件録音されているとき、留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。

伝言メモの録音中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。

相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。

## お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いいたします。

# テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしてご利用いただけます。また、自分の映像の代わりに静止画やメッセージなどの代替画像、キャラ電などを送信することもできます。

機種が違っていてもドコモのテレビ電話対応端末どうしならテレビ電話機能を利用することができます。

ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP<sup>1</sup>で標準化された、3G-324M<sup>2</sup>」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。

1：3GPP(3rd Generation Partnership Project)

第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

2：3G-324M

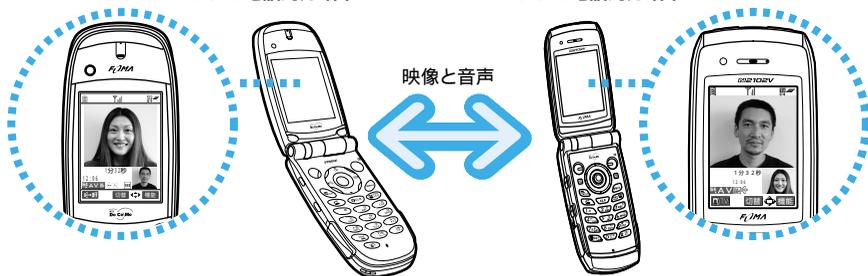
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話は、64K/32Kの通信速度で行います。

- ・64K：通信速度64kbpsで通信をします。
- ・32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話対応端末

テレビ電話対応端末



## テレビ電話画面の見かた

親画面です。お買い上げのときは相手側のカメラ映像が表示されます。

子画面です。お買い上げのときは自分側のカメラ映像が表示されます。

通話時間を示します。

現在の時刻を示します。

テレビ電話の各種機能の設定内容を示します。

64K：64Kテレビ電話通信中

32K：32Kテレビ電話通信中

A：音声送受信中

A：音声送受信失敗

V：映像送受信中

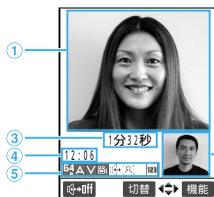
V：映像送受信失敗

📷：カメラ映像送信中

🖼️：「画像選択」で設定した代替画像送信中

👤：キャラ電送信中

🔊：ハンズフリー-OFF



🔊：ハンズフリー-ON

📷：撮影モード／接写

🌄：撮影モード／風景

👤：撮影モード／ポートレート

123：キー操作／DTMFモード

：DTMFについてはP.338を参照してください。

👤：キー操作／全体アクションモード

🔧：キー操作／パーツアクションモード

# テレビ電話をかけます

テレビ電話をかけると、かけた相手には内側カメラの映像を送信します。テレビ電話中に  [ 切替 ] を押して外側カメラに切り替えてその映像を送信することもできます。また、カメラ映像の代わりにほかの画像( 代替画像など )を送信するように設定することもできます。 P.98

お買い上げのときは「64K」の通信速度でテレビ電話をかけるように設定されています。FOMA端末どうしてテレビ電話を利用する場合は、「64K」の通信速度で利用することをおすすめします。

相手の顔を見ながら通信するには、ハンズフリーに切り替えるかスイッチ付イヤホンマイクを使用します。スイッチ付イヤホンマイクについて詳しくは、P.257を参照してください。

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。 P.73

音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的に復旧しません。再度テレビ電話をかけ直してください。

<例：ハンズフリーに切り替える場合>

## 1 相手の市外局番からダイヤルする



同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

**市外局番** - **市内局番** - **電話番号**

携帯電話にかける場合

090 - x x x x - x x x x

または

080 - x x x x - x x x x

PHSにかける場合

070 - x x x x - x x x x

「32K」の通信速度でテレビ電話をかける場合

機能メニューから「通信速度設定」-「32K」を選ぶ

## 2 を押してテレビ電話をかける



テレビ電話発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。

「32K」の通信速度で発信した場合は「」が点滅します。

この画面からデジタル通信料がかかります。

### 3 テレビ電話がつながったら を押してハンズフリーに切り替える

「」が表示され、相手の音声スピーカーから流れます。もう一度  を押し、ハンズフリーはOFFになり「」が「」に変わります。

ハンズフリーにすると相手の音声も周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。

外側カメラの映像を送信する場合

 [切替] を押す

 [切替] を押すたびに外側カメラ / 内側カメラを切り替えることができます(カメラ切替)。

通話中のテレビ電話を保留にする場合

 を押す

相手に保留音流れ、相手側のテレビ電話映像には「通話中保留」の画像が表示されます。

保留を解除するには  を、保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには  を、代替画像で出るには  を押します。

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合

ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

### 4 お話しが終わったら を押す

通話時間が表示された後、テレビ電話が終了します。

## テレビ電話に関する機能について

送信する画像の大きさや画質など、テレビ電話ではさまざまな機能を設定できます。

ハンズフリー : テレビ電話中に相手の音声スピーカーから流れます。

内側カメラ / 外側カメラの切り替え

: テレビ電話中に相手に送信する映像を、内側カメラ / 外側カメラに切り替えることができます。

ズーム : テレビ電話中に自分側の映像を拡大して送信できます。 P.96

親画面自局表示 / 対局表示

: テレビ電話中に親子画面の映像を切り替えることができます。 P.97

画像品質設定 : 映像の画質を重視するか、動きを重視するか選ぶことができます。 P.97

明るさ調節 : 自分側の映像の明るさを調節します。設定内容はカメラの同機能と同じです。『アプリケーション編』のP.267

ホワイトバランス設定

: 自分側の映像を光源に合わせて自然な色合いに調節します。設定内容はカメラの同機能と同じです。『アプリケーション編』のP.268

色調切替

: 自分側の映像をセピア色(黒茶色)や白黒で送信します。設定内容はカメラの同機能と同じです。『アプリケーション編』のP.268

撮影モード選択

: 状況にあった撮影モードにします。設定内容はカメラの同機能と同じです。『アプリケーション編』のP.267

キャラ電設定

: キャラ電で表示するキャラクターの選択、アクションの一覧表示、アクションモードの切り替えを行います。『アプリケーション編』のP.324、P.325

照明設定

: テレビ電話中のディスプレイのバックライトについて設定します。 P.100

通話中画像表示設定 : 親画面に表示される映像とそのサイズについて設定します。 P.100

通話中時間表示 : テレビ電話中に通話時間を表示する / しない(ON / OFF)を設定します。

DTMF送信 : キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定 / 解除します。キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号の送信モードになります。

電話番号表示

: テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

: 「ハンズフリー」、「内側カメラ / 外側カメラの切り替え」、「ズーム」、「色調切替」、「撮影モード選択」、「DTMF送信」、「電話番号表示」は、テレビ電話を終了するとお買い上げのときの設定に戻ります。

## テレビ電話がかからなかったとき

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由を示すメッセージが表示されます。ただし、状況によっては接続できなかった理由を示すメッセージが表示されない場合があります。また、接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直してください	電話番号を間違えた場合
お話中です	お話し中の場合
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
ドライブモード中です	相手がドライブモード中の場合
接続できませんでした	上記以外の場合

操作1と2が逆でもテレビ電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは  を押して表示を消してからおかけ直してください。

テレビ電話をかけるとき、音声電話と同じように電話帳や「リダイヤル」、「着信履歴」などを利用できます。

FOMA端末から緊急通報番号(110番、119番、118番)へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。

テレビ電話に対応していない電話機にテレビ電話をかけたときや、相手がテレビ電話に対応していても圏外や電源が入っていないときは接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけたときに「音声自動再発信設定」(P.95)を「ON」に設定している場合は、テレビ電話接続前に相手から切断され、自動的に音声電話でかけ直します。ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M(P.87)に対応していないISDNのテレビ電話等(2004年2月現在)にかけたときや間違い電話をしたときなどは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合がありますのでご注意ください。

「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。ただし、「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。

「音声自動再発信設定」(P.95)が「ON」に設定されているときに「64K」の通信速度でテレビ電話がかからなかった場合は、自動的に「32K」の通信速度に切り替わります。それでもテレビ電話がかからなかった場合は、音声電話に切り替わります。テレビ電話がかからなかったときの通信速度の自動切り替えと「音声自動再発信設定」の動作は次のようになります。

	通信速度を「64K」に設定している場合	通信速度を「32K」に設定している場合
「音声自動再発信設定」を「ON」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、音声電話に切り替えます。	音声電話に切り替えます。
「音声自動再発信設定」を「OFF」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、テレビ電話を切ります。	テレビ電話を切ります。

テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。

テレビ電話中に音声電話をかけたり、iモードに接続することはできません。

テレビ電話中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」(P.151)には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

テレビ電話中にiモードメールやメッセージリクエスト／フリーは受信できません。いったんiモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」(『アプリケーション編』のP.104、P.180)を行って受信してください。

テレビ電話中でもSMSは受信できます。

テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合でも「カメラオフ Camera Off」のメッセージのままとなります。

相手側の設定により映像が送信されてこないときには、代替画像が表示されます。

テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。

発信中はハンズフリーに切り替えることができません。

テレビ電話を終了するとハンズフリーはOFFになります。

ハンズフリー中も「受話音量」(P.78)を調節することができます。

ハンズフリー中は、「受話音量」を大きくすると周囲の状況により雑音が発生することがあります。

ハンズフリー中に周囲の雑音が大きいと、音声途切れたり良好な通話ができないことがあります。この場合はスイッチ付きイヤホンマイクをお使いください。

テレビ電話の通話時間は「デジタル通信」時間として加算されます。 P.161

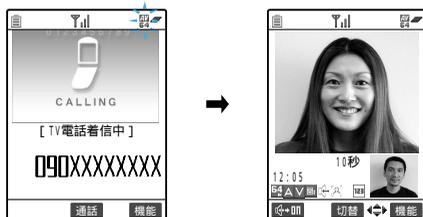
マナーモード設定中にハンズフリーに切り替えることができます。ハンズフリーを「OFF」にするか、通話を終了するとマナーモードに戻ります。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、ハンズフリーは維持されます。

# テレビ電話を受けます

かかってきたテレビ電話を受けます。テレビ電話にすぐに出られないときは、自分側のカメラ映像を相手側に表示させないで代わりに画像(代替画像)でテレビ電話に出ることもできます。

音声通話中、iモード中、iモードメール送受信、パケット通信中にテレビ電話を受けることはできません。

## 1 テレビ電話がかかってきたら を押して、電話を受ける



### 代替画像で出る場合

 または  [通話] を押す

相手側の画面には代替画像が表示されます。

代替画像で出た後でも、 を押してカメラ映像に切り替えることができます。

### スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

代替画像で出ることができます。「オート着信(P.260)」を「ON」に設定している場合は、設定した呼出時間経過後、自動的に代替画像で出ることができます。

### カメラ映像と代替画像を切り替える場合

 を押す

スイッチ付イヤホンマイク接続中も同じように操作できます。

### 着信中のテレビ電話を応答保留にする場合

 を押す

相手側のテレビ映像に「応答保留中」の画像が表示されます。応答保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには  を、代替画像で出るには  または  [通話] を押します。

### 着信中に意図的に電話を切りたい場合

機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

### 着信中の電話を転送する場合

機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ

「転送でんわサービス(P.276)」のご契約が必要です。「転送でんわサービス」の「開始/停止」にかかわらず転送先に接続します。

## 2 テレビ電話がつながったら を押してハンズフリーに切り替える

「」が表示され、相手の音声スピーカーから流れます。もう一度  を押すと、ハンズフリーはOFFになり「」が「」に変わります。

ハンズフリーにすると相手の音声も周囲にもれるので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。

外側カメラの映像を送信する場合

-  切替 を押す
-  切替 を押すたびに外側カメラ / 内側カメラを切り替えることができます(カメラ切替)。

通話中のテレビ電話を保留にする場合

 を押す

相手に保留音が流れ、相手側のテレビ電話映像には「通話中保留」の画像が表示されます。

保留を解除するには  を、保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには  を、代替画像で出るには  を押します。

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合

ハンズフリーに切り替える必要はありません。相手の声をイヤホンから聞くことができます。

## 3 お話が終わったら を押す

通話時間が表示された後、テレビ電話が終了します。

### おしらせ

「着信アンサー設定 (P.159)」を「エネキーアンサー」に設定していても「エネキーアンサー」でテレビ電話に出ることはできません(「クイックサイレント」に設定している場合は、ボタンを押して着信音だけを止めることができます)。

テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、テレビ電話をかけてきた相手にはデジタル通信料がかかります。

代替画像は「画像選択 (P.98)」で変更できます。

「留守番電話サービス」を「開始」に設定していても、かかってきたテレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。

「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、転送先を3G-324M(P.87)に準拠したテレビ電話対応機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。

相手側の設定により映像が送信されこない場合は、代替画像が表示されます。

着信中はハンズフリーに切り替えることができません。

テレビ電話を終了するとハンズフリーはOFFになります。

ハンズフリー中も「受話音量 (P.78)」を調節することができます。

スイッチ付イヤホンマイク接続中も、接続していないときと同じように  を押すとカメラ映像で、 を押すと代替画像でテレビ電話に出ることができます。

# キャラ電を楽しみます

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。  
 キャラ電のキャラクタは音に反応して口が動いたり、ボタン操作で手足を動かしたり表情をつけたりすることができます。

キャラ電を楽しむにはあらかじめ次の機能を設定しておいてください。

- ・「代替画像」を「キャラ電」に設定する P.98
- ・「発信時自画像送信設定」を「OFF」に設定する P.98

テレビ電話がかかってきた場合は、を押すとキャラ電でテレビ電話に出ることができます。

カメラ画像からキャラ電に切り替えるにはを押します。

キャラ電の切り替えやアクションの確認などについては、『アプリケーション編』のP.324、P.325をご覧ください。

## 1 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する



キャラ電



アクション一覧

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを表現します。

アクションモードを切り替える場合

機能メニューから「キャラ電設定」-「アクション切替」を選ぶ  
 「アクション切替」を選ぶたびに「全体アクション」と「パーツアクション」を切り替えることができます。  
 「全体アクション」とは感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。～または～を押して表現します。

「パーツアクション」とは顔や手足などキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。、～、を押して表現します。

アクションを確認する場合

機能メニューから「キャラ電設定」-「アクション一覧」を選ぶ  
 操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンが表示されます。  
でアクションを選んでそのアクションを実行することもできます。

: を押してもアクション一覧を表示できます。

ほかのキャラ電に切り替える場合

機能メニューから「キャラ電設定」-「キャラ電切替」を選ぶ

### おしらせ

機能メニューから「DTMF送信」を選んだ場合、ダイヤルボタンでプッシュ信号が送信できるようになるため、キャラ電をボタン操作で動かすことができなくなります。機能メニューから「DTMF解除」を選ぶと、キャラ電を再びボタン操作で動かすことができます。

DTMFについて P.338

## テレビ電話をかけるときの設定をします

テレビ電話がかからなかったときの音声電話への切り替えや、テレビ電話をかけるときの通信速度を設定できます。

テレビ電話がつながらなかったときに自動的に音声電話でかけ直します 音声自動再発信設定

お買い上げ時 OFF

テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末や「デュアルネットワークサービス」(P.285)でムーバ利用中のときなど、テレビ電話を受けられない場合に自動的に音声電話でかけ直すことができます。

1   「TV電話」▶「音声自動再発信設定」の順に選ぶ



自動的に音声電話でかけ直す場合

「ON」を選ぶ

音声電話でかけ直さない場合

「OFF」を選ぶ

### おしらせ

音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、音声通話料になります。再発信が行われたとき、「発信履歴」には最後の発信だけが1件として記憶されます。テレビ電話にいったん接続されると、音声電話への再発信は行いません。音声自動再発信設定を「ON」に設定している場合でも、相手が電波の届かない場所にいるときや話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

## テレビ電話をかけるときの通信速度を設定します

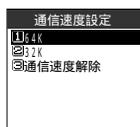
テレビ電話をかけるたびに、通信速度を設定できます。

FOMA端末どうしてテレビ電話を利用する場合は、「64K」の通信速度で接続することをおすすめします。

テレビ電話を終了すると、通信速度の設定は「64K」に戻ります。

1 電話番号を表示した画面で機能メニューから「通信速度設定」を選ぶ  
電話帳から電話番号を表示させた画面の場合、機能メニューから「電話帳便利機能」を選んで「通信速度設定」を選ぶ

## 2 通信速度を選ぶ



64K : 「64K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。  
 32K : 「32K」の通信速度でテレビ電話を利用するときに設定します。  
 設定した通信速度を解除する場合  
 「通信速度解除」を選ぶ

## 3 を押してテレビ電話をかける

設定した通信速度でテレビ電話をかけます。

### お知らせ

通信速度によってデジタル通料は変わりません。  
 電話帳の電話番号やグループごとに通信速度を設定することもできます。 P.120

## 相手側に送信する映像について設定します

テレビ電話中に相手に送信する映像などについて設定できます。

### 送信する映像を拡大します

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信できます。

内側カメラの映像を送信している場合は約2倍(2段階)まで、外側カメラの映像を送信している場合は約4.2倍(16段階)まで拡大できます。

テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切替などを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。

代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。

相手側の映像を拡大することはできません。

## 1 テレビ電話中に を押してZOOM(ズーム)バーを表示する

## 2 拡大する倍率を調節する



倍率を高くする場合

 を押す

倍率を低くする場合

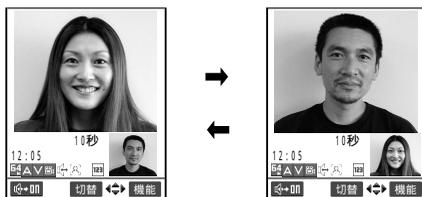
 を押す

## 相手側と自分側のカメラ映像を切り替えます

お買い上げ時 親画面：相手側のカメラ映像 子画面：自分側のカメラ映像

テレビ電話中に親画面を自分側のカメラ映像、子画面を相手側のカメラ映像に切り替えることができます。相手に送信している映像を親画面で確認したい場合などに便利です。

### 1 テレビ電話中に機能メニューから「親画面自局表示 / 親画面対局表示」を選ぶ



「親画面自局表示 / 親画面対局表示」を選ぶたびに親子画面の映像を切り替えることができます。

## 送受信する映像の画質を設定します

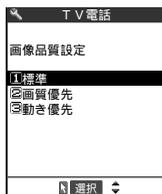
お買い上げ時 標準

相手に送信する映像と相手から受信する映像について、画質を重視するか、動きを重視するかを設定できます。

テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

### 1 「TV電話」▶「画像品質設定」の順に選ぶ

### 2 送受信する映像の画質を選ぶ



標準：画質、動きともに標準の設定です。

画質優先：きめ細やかな映像で送受信します。動きが少ない場合に有効です。

動き優先：動きが滑らかな映像で送受信します。動きが多い場合に有効です。

#### おしらせ

テレビ電話中に機能メニューから「TV電話設定」-「画像品質設定」を選んで設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。

## 発信時に相手側にカメラ映像を送信するかどうか設定します

お買い上げ時 ON

テレビ電話をかけるとき、相手に送信する映像をカメラ映像にするか、代替画像にするかを設定できます。

テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1   「TV電話」▶「発信時自画像送信設定」の順に選ぶ



カメラ映像を送信する場合  
「ON」を選ぶ

代替画像を送信する場合  
「OFF」を選ぶ

### おしらせ

本機能の設定にかかわらず、テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。送信する代替画像は「画像選択」で変更できます。

## テレビ電話中に送信する画像について設定します

お買い上げ時 応答保留、通話中保留、伝言メモ：内蔵 代替画像：キャラ電

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定できます。

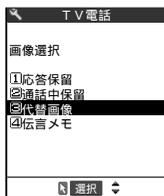
本機能で設定できる画像は、VGAサイズ(640×480ドット)以下のJPEGファイルです。ただし、メール(大)サイズ(176×144ドット)以上の大きさの画像を設定した場合は、メール(大)サイズ(176×144ドット)に縮小されます。

テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

<例：代替画像を設定する場合>

1   「TV電話」▶「画像選択」の順に選ぶ

## 2 「代替画像」を選ぶ



テレビ電話中に自分の映像の代わりに送信する画像について設定します。

応答保留のときに送信する画像を設定する場合

「応答保留」を選ぶ

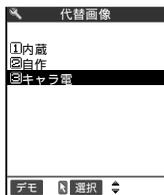
通話中保留のときに送信する画像を設定する場合

「通話中保留」を選ぶ

伝言メモの起動中に送信する画像を設定する場合

「伝言メモ」を選ぶ

## 3 送信する画像を選ぶ



メッセージのみを送信する場合

「内蔵」を選ぶ

画像とメッセージを送信する場合

「自作」を選ぶ

画像の設定のしかた 『アプリケーション編』のP.301

キャラ電を送信する場合

「キャラ電」を選ぶ

キャラ電プレーヤーの「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。

キャラ電プレーヤーについて 『アプリケーション編』のP.324

画像を確認する場合

確認したい項目を反転表示して  「デモ」を押す

### 送信されるメッセージについて

送信されるメッセージは次のとおりです。

応答保留の場合 : 「応答保留中 On Hold」

通話中保留の場合 : 「保留 Holding」

代替画像を送信の場合 : 「カメラオフ Camera Off」

伝言メモ起動中の場合 : 「伝言メモ/Record Msg. < 音声録音中/Voice Only >」

### おしらせ

メール(大)サイズ以上の大きさの画像を縮小表示するとき、縦横比が変わる場合があります。

画像の縮小は表示上のみで、元の画像データに影響はありません。

テレビ電話をかけるときに、ダイヤル入力画面、電話帳、リダイヤル、発信/着信履歴の詳細画面で機能メニューから「TV電話画像選択」を選んで送信する画像を設定することもできます。また、Phone to機能『アプリケーション編』のP.111)の「TV電話画像選択」を選んで設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。

代替画像を「キャラ電」に設定していても、カメラの連写モードで撮影中や確認モード画面の表示中にはキャラ電は送信されず、「内蔵」の画像が送信されます。

## テレビ電話中に表示される映像について設定します

テレビ電話中に表示される映像やバックライトを設定します。

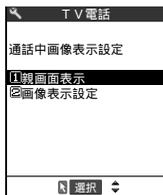
親画面に表示される映像や映像のサイズについて設定します 通話中画像表示設定

お買い上げ時 親画面表示：親画面対局表示 画像表示設定：画面サイズで表示

テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。また、テレビ電話中に本機能の設定を変更した場合は、その設定が反映されます。

1   「TV電話」▶「通話中画像表示設定」の順に選ぶ

## 2 設定する項目を選ぶ



相手側と自分側の映像の表示位置を切り替える場合

「親画面表示」を選ぶ

親画面に表示する映像を相手側(親画面対局表示)にするか自分側(親画面自局表示)にするかを選びます。

映像を表示するサイズを設定する場合

「画像表示設定」を選ぶ

映像を表示するサイズを「画面サイズで表示 / 等倍表示」から選びます。

### お知らせ

テレビ電話中に機能メニューから「画像表示設定」を選んで設定することもできます。その場合本機能の設定も変更されます。

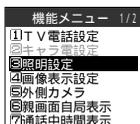
テレビ電話中の画面の動きがなめらかでない場合は、「画像表示設定」を「等倍表示」に設定することをおすすめします。

## テレビ電話中のバックライトについて設定します

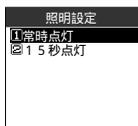
お買い上げ時 常時点灯

テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 テレビ電話中に機能メニューから「照明設定」を選ぶ



## 2 設定する項目を選ぶ



テレビ電話中は常に点灯させる場合

「常時点灯」を選ぶ

テレビ電話中の点灯時間を15秒に設定する場合

「15秒点灯」を選ぶ

### おしらせ

テレビ電話中は、「ディスプレイ」の「照明設定」(P.183)の設定より本機能の設定が優先されます。

## 遠隔監視を設定します

お買い上げ時 対局番号登録：無 応答時間設定：5秒 設定：OFF

FOMA端末のカメラ映像を利用して、外出先から室内のペットの様子などを確認したり、工場現場や操業状況の管理などを離れた場所から確認したりできます。遠隔監視できるのは3G-324M(P.87)に準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末同士です。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

遠隔監視を受ける側が監視する側の電話番号をあらかじめ登録していて、遠隔監視設定が「ON」に設定されている場合のみ、遠隔監視を行うことができます。

### 着信側の準備をします

遠隔監視を受ける側(着信側)で、発信側の電話番号(対局番号)や遠隔監視を開始するまでの時間(応答時間)を設定します。

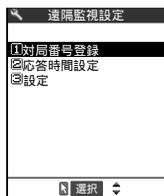
対局番号は5件まで登録できます。

「マナーモード」または「ドライブモード」に設定中は遠隔監視を受けることはできません。

1   「TV電話」▶「遠隔監視設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.193

2 「対局番号登録」を選ぶ



### 3 未登録 の項目を選ぶ



すでに登録されている対局番号を変更する場合

変更したい対局番号を選ぶ

「電話帳」、「発信履歴」、「着信履歴」から入力する場合

機能メニューから「宛先参照入力」を選んで項目を選ぶ

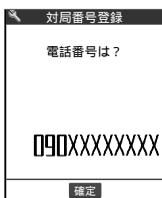
対局番号を1件削除する場合

削除したい対局番号を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

対局番号をすべて削除する場合

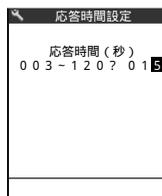
機能メニューから「全削除」を選ぶ

### 4 対局の電話番号を入力する



入力すると対局番号の一覧画面に戻ります。Ⓞ(CLR)を押して遠隔監視設定画面に戻ってください。

### 5 「応答時間設定」を選び応答時間(003～120秒)を入力する

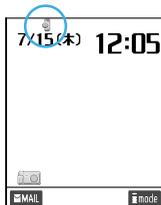


時間は3桁で入力します。3桁の時間を入力すると、応答時間が設定されます。

表示されている時間をそのまま設定する場合

時間を入力しないでⓄ(確定)を押す

### 6 遠隔監視設定画面で「設定」を選び「ON」を選ぶ



遠隔監視が設定され、待受画面に「」が表示されます。

遠隔監視を受けない場合

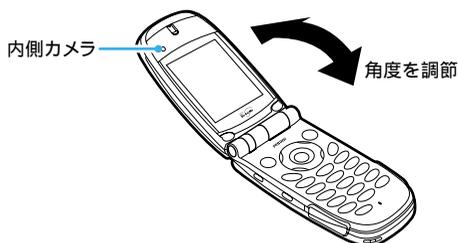
「OFF」を選ぶ

## 7 FOMA端末を設置する

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。

着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。

閉じたまま設置した場合は、遠隔監視着信は無効となり、着信を拒否します。



### おしらせ

「伝言メモ」や「オート着信」の呼出時間と同じ時間には設定できません。

着信側の「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「転送でんわ」が優先されます。遠隔監視を優先させるには、「転送でんわサービス」より短い応答時間に設定してください。

遠隔監視設定を「ON」に設定したあとで対局電話番号をすべて消去すると、「設定」は「ON」のままとなり、「」の表示も残りますが、遠隔監視を行うことはできなくなります。

## 遠隔監視を行います

着信側のFOMA端末にテレビ電話をかけて、着信側のカメラ映像を確認します。

遠隔監視を行うには、必ず着信側で対局番号として登録されたFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。

着信側では発信側の映像は表示されず音声も流れません。

遠隔監視中、着信側のFOMA端末では送信する画像を代替画像に切り替えることはできません。

着信側が「マナーモード」または「ドライブモード」に設定中は、遠隔監視はできません。

### 1 着信側へテレビ電話をかける



着信側

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。

発信側では着信側の映像が表示され、音声も流れます。を押してハンズフリーに切り替えると、着信側の音声をスピーカから流すことができます。スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を利用している場合は、ハンズフリーに切り替えることなく、着信側の音声をイヤホンから聞くことができます。

着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話に出る場合

応答時間が経過する前に、カメラ映像で出る場合はを、代替画像で出る場合はを押す

オールロック設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの着信は受けられます。

電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。

着信側で対局番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、または対局番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合は、着信が拒否され、遠隔監視はできません。

遠隔監視設定と次の機能を同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。

・ドライブモード ・マナーモード ・指定着信拒否/許可 ・登録外着信拒否

遠隔監視設定と伝言メモを同時に設定した場合は、伝言メモの呼出時間が遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていても、遠隔監視が優先されます。

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を接続している場合は、「イヤホン切替」の設定にかかわらず着信音はイヤホンとスピーカから鳴ります。

着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。

着信音は「着信音量」で設定した音量で鳴ります。ただし、「消去」や「レベル1」、「ステップトーン」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります。

遠隔監視の着信時は、「着信イルミネーション」の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。

遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。を押すと電話は切れます。

着信側で遠隔監視設定を「ON」に設定している場合、対局番号に登録された電話番号からのテレビ電話の着信は、遠隔監視の着信履歴として記憶されます。遠隔監視が実行されなかった場合、「着信履歴」(P.151)には遠隔監視の「不在着信履歴」として記憶されます。

遠隔監視中に着信側のFOMA端末を折り畳むと、「クローズ動作設定」の設定に従って次のような動作となります。

- ・保留 : 発信側に通話中保留画像を送信します。
- ・ミュート : 発信側に代替画像を送信します。
- ・終話 : 遠隔監視を終了します。

ただし、スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合は、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず代替画像が表示されます。

遠隔監視中は発信側、着信側のどちらも音声電話やテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

遠隔監視中は発信側や着信側でメッセージリクエスト/フリーやiモードメールは受信されず、iモードセンターでお預かりします。遠隔監視終了後、「iモード問い合わせ」(『アプリケーション編』のP.104、P.180)を行って受信してください。ただし、遠隔監視中でもSMSは受信できます。卓上ホルダに三脚を取り付けると、FOMA端末を固定して遠隔監視できます。

## 遠隔監視を終了します

1

を押す

通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。

着信側でを押しても遠隔監視が終了します。



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例(迷惑防止条例等)に従い処罰されることがあります。

# FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末(本体)の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

## FOMA端末(本体)とFOMAカードの電話帳の違い

### 登録内容

FOMA端末(本体)の電話帳とFOMAカードの電話帳の登録内容は次のとおりです。

登録内容	FOMA端末(本体)の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数 <sup>1</sup>	最大700件まで登録可能です。	50件まで登録可能です。
名前の登録方法	姓と名に分けて登録します。	姓と名を合わせて登録します。
グループ <sup>2</sup>	グループ00~19に分類可能です。	グループ00~10に分類可能です。
電話番号の登録 <sup>3</sup>	1つの電話帳につき4件まで、電話帳全体で700件まで登録可能です。相手の携帯電話の電話番号や会社の電話番号などを1つの電話帳として登録できます。 「  」「  」「  」のような24種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「携帯電話の電話番号」「会社の電話番号」などが一目で区別できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。  アイコンの選択はできません。「  」が自動的に登録されます。
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3件まで、電話帳全体で700件まで登録可能です。相手の自宅のメールアドレスや会社のアドレスなどを1つの電話帳として登録できます。 「  」「  」「  」のような5種類のアイコンを選択して登録できます。相手の「自宅のメールアドレス」「会社のメールアドレス」などが一目で区別できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。  アイコンの選択はできません。「  」が自動的に登録されます。
画像の登録	1つの電話帳につき静止画1件、動画1件登録可能です。それぞれ電話帳全体で100件まで登録可能です。	-
その他のデータの登録	1つの電話帳につき郵便番号、住所、メモをそれぞれ1件登録可能です。相手の電話番号やメールアドレスと一緒に1つの電話帳として登録できます。	-

1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。

2：「グループ01」~「グループ19」(FOMAカードの電話帳では「グループ01」~「グループ10」)のグループ名は変更できます。あらかじめ好きなグループ名に変更しておくとう便利です。 P.128

3：電話番号には0~9、#、\*、pを入力できます。サブアドレス(P.150)を利用する場合は、\*を入力してください。

## FOMA端末(本体)の電話帳の特徴

FOMA端末(本体)の電話帳に登録すると、次のような便利な機能が使えます。

- ・メモリ番号「000」-「009」に指定すると、ボタン操作2つで電話をかけられる「ツータッチダイヤル」を利用できます。 P.110
- ・着信時や発信時の設定を電話番号やメールアドレスごと、グループごとに設定できる「電話帳便利機能」、「グループ便利機能」を利用できます。 P.120
- ・電話番号ごとに発信や着信を制限する「電話帳指定設定」を利用できます。 P.141
- ・知られたくない電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録できます。 P.201
- ・「シークレットコード」を設定できます。 P.127

## FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

## 名前の表示について

### 音声電話、テレビ電話

電話番号を電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。



また、電話帳に静止画または動画が登録されていて、「電話帳画像着信設定」(P.181)が「ON」に設定されている場合は、その画像が表示されます。



「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

## iモードメール、SMS

iモードメールのアドレスを電話帳に登録した相手からのiモードメール、または電話番号を電話帳に登録した相手からのSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にiモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。

また、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

### お知らせ

「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳の場合、名前は表示されずに電話番号やメールアドレスのみが表示されます。

「指定発信制限」(P.141)の設定中は、「指定発信制限」に指定されていない電話番号の場合、名前が表示されずに電話番号のみが表示されます。

同じ電話番号またはメールアドレスで名前が異なる複数の電話帳に登録した場合は、フリガナの検索順(P.116)で先に表示される電話帳の名前が表示されます。

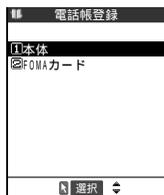
## 電話帳に登録します

「姓」または「名」は必ず入力してください。どちらも入力していない場合は電話帳の登録できません。

### FOMA端末(本体)に電話帳を登録します

1   「電話帳登録」の順に選ぶ

2 「本体」を選ぶ



### 3 姓を入力する



漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字で入力します。

姓と名を合わせて全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。

姓を入力しないで名のみ入力することもできます。

文字の入力のしかた P.298

### 4 姓のフリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合

カタカナ、英字、数字、記号で修正します。

姓と名を合わせて半角で32文字まで登録できます。

「電話帳検索 (P.116)」のフリガナ検索では、ここで登録した姓のフリガナと名のフリガナの組み合わせによって検索します。

### 5 名を入力する

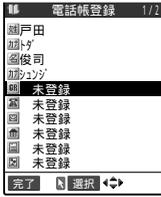
姓と同じように入力します。

名を入力しないで姓のみ入力することもできます。

### 6 名のフリガナを確認する

フリガナが間違っていた場合は、姓のフリガナと同じように修正します。

## 7 それぞれの項目を設定する



**GR** グループ : 登録するグループを「00」~「19」から選びます。グループを選ばない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

**☎** 電話番号 : 電話番号を入力してアイコンを選びます。電話番号は26桁まで入力できます。

1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「☎ <追加登録>」が表示されます。この項目を選ぶと電話番号を追加登録できます。

一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。

**✉** メールアドレス

: メールアドレスを入力してアイコンを選びます。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「✉ <追加登録>」が表示されます。この項目を選ぶとメールアドレスを追加登録できます。

文字の入力のしかた P.298

**🏠** 住所

: 郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などを入力でき、全角で46文字、半角で93文字まで入力できます。

**📄** メモ

: メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。

**🖼️** 静止画

: 着信時に表示される静止画を「イメージビューア」に保存されているデータから選びます。

静止画の選びかた 『アプリケーション編』のP.294

**🎬** 動画

: 着信時に表示される動画を「ムービープレイヤー」に保存されているデータから選びます。

動画の選びかた 『アプリケーション編』のP.308

**📞** メモリ番号

: メモリ番号は電話帳の登録時に自動的に割り当てられますが、000~699の範囲で好きな番号に変更できます。

## 8 [完了]を押して電話帳を登録する

### タッチダイヤル

メモリ番号を「000」~「009」に登録すると、からのうちの1つを押してまたは [発信] (テレビ電話の場合は)を押すだけですばやく電話をかけることができます。

姓、名に「ㇿ(全角小文字)」を入力した場合、フリガナは「ㇿ(半角大文字)」と表示されます。記号や絵文字を入力した場合は、フリガナに反映されません。また、区点コードで入力した文字はスペースに置き換わります。ただし、区点コードで入力した文字が半角にもある場合(カタカナや英字など)は、フリガナに反映されます。

姓、名を入力して「確定」を押した後に再度入力(修正)した場合、その文字はフリガナに反映されません。

記号、絵文字を使って登録された電話帳は、メモリ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。

メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@(アットマーク)よりあとの文字のことで。

(例) docomo.taro. @docomo.ne.jp

ドメイン名まで正しく登録しないと次の機能が利用できません。

- ・電話帳便利機能、グループ便利機能 P.120
- ・メールの送信元の名前表示 『アプリケーション編』のP.150
- ・受信したメールの自動振り分け 『アプリケーション編』のP.203
- ・顔が見えるメール 『アプリケーション編』のP.151

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

電話帳に登録した静止画や動画の元のデータが変更されたり、削除された場合は、電話帳の静止画や動画も同じように変更、削除されます。

登録した静止画や動画を着信時に表示させるには、「電話帳画像着信設定 (P.181)」を「ON」に設定してください。

登録した静止画や動画が電話帳の詳細画面の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。

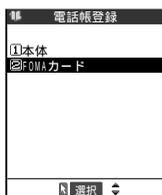
静止画や動画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画や動画が「画面表示設定 (P.177)」の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。

## FOMAカードに電話帳を登録します

「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。

1   「電話帳登録」の順に選ぶ

2 「FOMAカード」を選ぶ



### 3 名前を入力する



漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。  
名前は全角で10文字、半角英数字(一部の半角記号を含む)で21文字まで登録できます。  
文字の入力のしかた P.298

### 4 フリガナを確認する

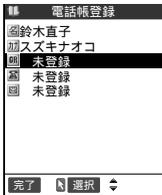
フリガナが間違っていた場合

全角のカタカナ、英字、数字、記号で修正します。

フリガナは全角で12文字、半角英数字(一部の半角記号を含む)で25文字まで登録できます。

「電話帳検索(P.116)のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナによって検索します。

### 5 それぞれの項目を設定する



**CR** グループ：登録するグループを「00」～「10」から選びます。グループを選ばない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。

**☎** 電話番号：電話番号を入力します。電話番号は青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。  
一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。

**✉** メールアドレス  
：メールアドレスを入力します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。  
文字の入力のしかた P.298

### 6 [完了]を押して電話帳を登録する

名前に「㇀(全角小文字)」を入力した場合、フリガナは「㇀(全角大文字)」と表示されます。ただし、フリガナ入力で「㇀(全角小文字)」を入力することはできません。記号を入力した場合は、フリガナに反映されません。また、区点コードで入力した文字はスペースに置き換わります。ただし、区点コードで入力した文字が半角にもある場合(カタカナや英字など)は、フリガナに反映されます。姓、名を入力して「確定」を押した後に再度入力(修正)した場合、その文字はフリガナに反映されません。

記号を使って登録された電話帳は、メモリ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@(アットマーク)よりあとの文字のことです。

(例) docomo.taro. @docomo.ne.jp

ドメイン名まで正しく登録しないと次の機能が利用できません。

- ・メールの送信元の名前表示 『アプリケーション編』のP.150
- ・受信したメールの自動振り分け 『アプリケーション編』のP.203
- ・顔が見えるメール 『アプリケーション編』のP.151

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

## 電話やメールの履歴から電話帳に登録します

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」から電話帳に登録したり、電話番号をダイヤルしてから電話帳に登録できます。

すでに登録してある電話帳に追加登録する場合は、登録してある電話帳を検索して呼び出してから登録できます。

<例：「着信履歴」からFOMA端末(本体)の電話帳に追加登録する場合>

### 1 登録する電話番号の着信履歴画面を表示する



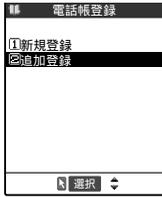
着信履歴の表示のしかた P.151

### 2 機能メニューから「電話帳登録」-「本体」を選ぶ



FOMAカードに登録する場合  
「FOMAカード」を選ぶ

### 3 「追加登録」を選んで登録する電話帳を検索する



電話帳の検索のしかた P.116

新規に登録する場合

「新規登録」を選ぶ

FOMAカードの場合

「新規登録」か「上書き登録」を選ぶ

### 4 電話帳の詳細画面を表示して [ 選択 ] を押す



電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。

電話帳の修正のしかた P.119

### 5 修正が終わったら [ 完了 ] を押す

上書きするかどうかのメッセージが表示された場合

「YES」を選ぶ

#### おしらせ

「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発番号設定の情報(「通知」/「非通知」)は、電話帳には登録されません。

返信不可の受信アドレスは電話帳に登録できません。

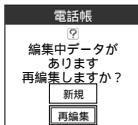
### 編集を中断した電話帳があるとき

電話帳の編集中に「電池切れアラーム」が鳴った場合や、マルチタスク(P.265)を利用してツールグループのタスクを新たに起動した場合は、電話帳の編集が中断されます。このとき、編集中の電話帳は自動的に編集中心データとして一時保存されます。編集中心データを呼び出して、編集を再開してください。

1   「電話帳登録」の順に選ぶ

2 「本体」または「FOMAカード」を選ぶ

### 3 「再編集」を選ぶ



中断した電話帳の編集を再開できます。

編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中的数据は消えます。

新規に登録する場合

「新規」を選ぶ

#### お知らせ

編集中的数据として一時保存されるのは最新の1件のみです。

電話帳の編集中に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、編集中の電話帳のデータはそのまま電話に出ることができます。

音声通話中の場合は、を押してタスクメニューを表示させて、編集中の項目を選ぶと電話帳の編集画面に戻ることができます。また、音声電話やテレビ電話が終了すると、元の編集画面に戻ります。

#### お願い

お買い上げ後、はじめてお使いになるときや、約1ヶ月以上電池パックを外した状態および空の状態では、内蔵のバックアップ電池を充電する必要があります。FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。

「電話帳」に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.470)やminiSDメモリーカード(『アプリケーション編』のP.357)を利用して保管されることをおすすめいたします。FOMA端末(本体)の電話帳の登録内容は電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月間は保持しますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。また、FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。

当社窓口にて新機種にコピーできるのは「1つ目の電話番号」「カナ・漢字氏名」「グループ設定」「1つ目のメールアドレス」「ブックマーク」「シークレット設定」です。なお、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

なお、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.470)をご利用いただくことにより、電話帳の内容をパソコンへ転送・保管していただくことができます。

# 電話帳を検索します

登録した電話帳は、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行(アカサタナ順)の7つの検索方法で呼び出すことができます。

シークレットデータとして登録した電話帳は、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にしないと呼び出せません。

呼び出した電話帳から電話をかけることができます。

## 検索結果の表示について

メモリ番号検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、次の順で検索してその結果を表示します。

50音[フリガナの先頭がスペースからはじまるもの、ア、ア、イ、イ……………ン]



アルファベット[A、a、B、b……………Z、z]



数字[0……………9]



記号



フリガナが登録されていないもの

1



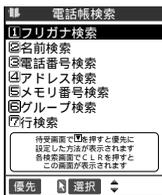
「電話帳検索」の順に選ぶ



を押してから「電話帳検索」を選ぶが、を押しても電話帳検索画面を表示することができます。

2

## 検索する方法を選ぶ



優先して表示する検索方法を設定する場合

優先して表示したい検索方法を反転表示して[優先]を押す  
次回検索するときに、待受画面表示中にを押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

検索方法の優先設定を解除する場合

[解除]を押す

# 3

## 電話帳を検索する



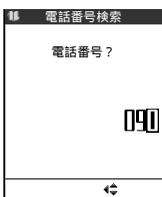
### フリガナ検索の場合

フリガナの一部を入力してから  または  を押す  
フリガナは姓、名の順で先頭から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。  
文字の入力のしかた P.298



### 名前検索の場合

名前の一部を入力してから  または  を押す  
名前(姓、名の順で)は先頭から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。



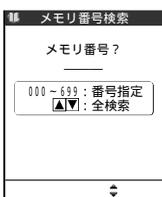
### 電話番号検索の場合

電話番号の一部を入力してから  または  を押す  
最初の数桁または途中の数桁を入力しても検索できます。



### メールアドレス検索の場合

メールアドレスの一部を入力してから  または  を押す



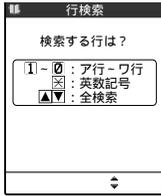
### メモリ番号で検索の場合

3桁のメモリ番号を入力する  
FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。



### グループ検索の場合

目的のグループを選ぶ  
FOMAカードの電話帳はFOMA端末(本体)の電話帳のグループとは別グループになります。



## 行(アカサタナ順)検索の場合

検索したい行に対応するボタンを押す

- ①: フリガナの頭文字が「ア行」のみ表示
- ②: フリガナの頭文字が「カ行」のみ表示
- ③: フリガナの頭文字が「サ行」のみ表示
- ④: フリガナの頭文字が「タ行」のみ表示
- ⑤: フリガナの頭文字が「ナ行」のみ表示
- ⑥: フリガナの頭文字が「マ行」のみ表示
- ⑦: フリガナの頭文字が「ヤ行」のみ表示
- ⑧: フリガナの頭文字が「ラ行」のみ表示
- ⑨: フリガナの頭文字が「ワ」「ラ」「ン」のみ表示
- \*: その他を表示

検索が終了すると、検索条件を満たした電話帳が一覧で表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は、検索結果の一覧画面で「」が表示されます。

検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合は、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

## 登録されているすべての電話帳を一覧で表示する場合

検索条件を入力せずに①または⑨を押す

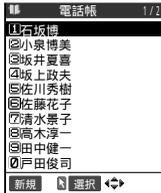
ただし、検索方法が「グループ検索」の場合は、すべての電話帳を一覧で表示できません。

## 一覧画面から電話をかける場合

電話をかける電話帳を反転表示してまたはを押す

を押すと音声電話が、を押すとテレビ電話がかかります。反転表示した電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

## 4 目的の電話帳を選ぶ



電話帳の詳細画面が表示されます。

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

を押すと、電話番号の表示を切り替えることができます。

電話帳の詳細画面から電話をかける場合

電話をかける電話番号を表示して

またはを押す

を押すと音声電話が、を押すとテレビ電話がかかります。

## おしらせ

優先して表示する検索方法を設定しない場合は⑨を押すと電話帳検索画面が表示され、最後に操作したとき選んだ検索方法が反転表示されます(ラストワン機能)。

# 電話帳を修正します

電話帳の登録されている内容を修正します。  
修正した内容を新しい電話帳として登録することもできます。

1 修正したい電話帳の詳細画面を表示して  [編集] を押す  
電話帳の検索のしかた P.116

2 それぞれの項目を修正する



「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。

電話帳の登録のしかた P.108

新しいメモリ番号に登録する場合

「No」を選んで電話帳が登録されていないメモリ番号(000～699)を入力する

修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

3 修正が終わったら  [完了] を押して「YES」を選ぶ

FOMAカードの場合

 [完了] を押したあと「上書き登録 / 追加登録」を選ぶ

「上書き登録」を選ぶと、修正した内容で登録します。

「追加登録」を選ぶと、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

## お知らせ

「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は電話帳を修正できません。  
シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと修正できません。

## 電話帳やグループごとに着信を区別します

お買い上げ時 すべて解除

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定できます。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

設定できる機能は次のとおりです。

目的		機能名	参照ページ
着信時	誰からの電話かを、音や画像などでわかるようにしたい場合	着信音で区別 <sup>1</sup>	音声 / TV電話着信音 P.163
		着信ランプの点滅色で区別 <sup>1</sup>	着信イルミネーション P.185
		画像で区別	着信イメージ P.177
着信時	伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えたい場合 <sup>2</sup>	応答メッセージ	P.84
着信時	誰からのメールかを、音などでわかるようにしたい場合	着信音で区別	メール着信音 P.163
		着信ランプの点滅色で区別	メールイルミネーション P.185
発信時	テレビ電話をかけるときの通信速度を、相手によって区別したい場合	通信速度設定	P.95

1 : 64Kデータ通信の着信時も区別できます。

2 : あらかじめ「伝言メモ (P.84)」を「ON」に設定しておく必要があります。

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されているすべての電話番号とメールアドレス、および「グループ00」を除くすべてのグループに設定できます。

FOMAカードに登録された電話帳およびグループには設定できません。

「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。

相手が電話番号を通知してこない場合、電話帳便利機能およびグループ便利機能は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくとう便利です。 P.284

## 電話番号やメールアドレスに着信や発信の設定をします

電話帳に登録されている電話番号やメールアドレスに着信時や発信時の便利機能を設定する方法は共通です。

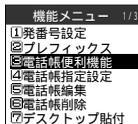
## 1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた P.116

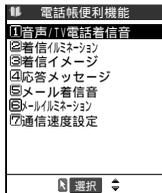
同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

☺を押して設定したい電話番号を表示する

## 2 機能メニューから「電話帳便利機能」を選ぶ



## 3 設定したい機能を選んでそれぞれの内容を設定する



設定した機能には「」が付きま  
す。  
設定されている機能を解除する場合  
「」がついている機能を選ぶ  
機能が解除されて「」が消えます。

### 電話帳便利機能を設定すると

電話帳の詳細画面に設定されている便利機能を示すアイコンが表示されます。



-  : 「音声 / TV電話着信音」が設定されていることを示します。
-  : 「着信イルミネーション」が設定されていることを示します。
-  : 「着信イメージ」が設定されていることを示します。
-  : 「応答メッセージ」が設定されていることを示します。
-  : 「メール着信音」が設定されていることを示します。
-  : 「メールイルミネーション」が設定されていることを示します。
-  : 「通信速度設定」が「64K」に設定されていることを示します。
-  : 「通信速度設定」が「32K」に設定されていることを示します。

### お知らせ

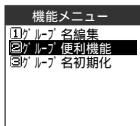
電話番号やメールアドレスを変更すると、本機能の設定は解除されます。  
設定した項目を変更する場合は、現在の設定を解除してから行ってください。

## グループごとに着信や発信の設定をします

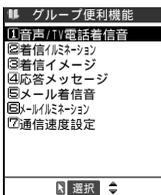
電話帳のグループに着信時や発信時の便利機能を設定する方法は共通です。

## 1 「グループ設定」の順に選ぶ

## 2 設定したいグループを反転表示して機能メニューから「グループ便利機能」を選ぶ



## 3 設定したい機能を選んでそれぞれの内容を設定する



設定した機能には「」がつきます。

設定されている機能を解除する場合

「」がついている機能を選ぶ

機能が解除されて「」が消えます。

### おしらせ

複数のグループに同じ電話番号やメールアドレスが登録されている場合は、行検索の検索順 (P.116) で先に呼び出される電話番号やメールアドレスのグループの設定が優先されます。

「シークレットモード」または「シークレット専用モード」で登録した電話帳(シークレットデータ)と普通の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。

設定した項目を変更する場合は、現在の設定を解除してから行ってください。

### 設定が重なったときの動作の優先順位

電話帳便利機能 / グループ便利機能の設定がほかの機能の設定と重なった場合や、それぞれ異なる設定をしているメールやメッセージリクエスト / フリーを同時に受信したときの動作は次のようになります。

#### 着信の設定が重なった場合の着信ランプの動作

優先順位は次のとおりです。 が最も優先順位が高くなります。

- 電話帳便利機能の着信イルミネーション設定
- グループ便利機能の着信イルミネーション設定
- 着信イルミネーション設定

#### 着信の設定が重なった場合の着信音動作

優先順位は次のとおりです。 が最も優先順位が高くなります。

- 電話帳便利機能の着信音
- グループ便利機能の着信音
- 着信音選択

#### 着信の設定が重なった場合の着信画像の表示動作

優先順位は次のとおりです。 が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 電話帳登録画像のiモーション  | 電話帳登録画像のイメージ |
| 電話帳便利機能の着信イメージ  | 画面表示設定       |
| グループ便利機能の着信イメージ |              |

#### 通信速度の設定が重なった場合

優先順位は次のとおりです。 が最も優先度が高くなります。

- テレビ電話発信時に機能メニューから選んだ通信速度設定
- 電話番号ごとに指定した電話帳便利機能の設定
- グループごとに設定したグループ便利機能の設定

#### 複数のメールやメッセージリクエスト / フリーを同時に受信した場合

	着信音、着信イルミネーションの動作
複数のメールのみを受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。
メッセージリクエストとメッセージフリーを同時に受信	メッセージリクエストに設定されている条件で動作します。
メールとメッセージリクエスト / フリーを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。

## 電話帳便利機能の設定状況を確認めます

「電話帳便利機能」を設定している電話帳およびグループを各機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

1

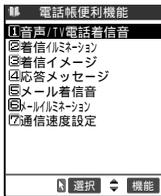


電話帳



「電話帳便利機能」の順に選ぶ

## 2 「 」がついている機能を選ぶ



選んだ機能の項目が表示されます。

本機能が設定されている項目には「 」がついています。

機能の設定をまとめて解除する場合

「 」がついている機能を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

## 3 「 」がついている項目を選ぶ



着信音の場合

選んだ項目が設定されている電話帳の名前とグループ名の一覧画面が表示されます。

グループ名の前に「GR」が表示されます。

項目ごとに機能設定をまとめて解除する場合

「 」がついている項目を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

## 4 設定されている電話帳およびグループを確認する

電話帳の詳細画面を表示する場合

表示したい電話帳を選ぶ

電話帳に設定されている機能を解除する場合

詳細画面で解除したい電話番号、メールアドレスを選ぶ

グループに設定されている機能を解除する場合

解除したいグループを選ぶ

# 電話帳に各種機能を設定します

## 電話帳に発信者番号通知 / 非通知を設定します < 発信者設定 >

音声電話やテレビ電話をかけるたびに、相手にお客様の電話番号を通知するかしないかを設定できます。

電話帳に本機能の設定は登録されません。電話をかけるたびに設定してください。本機能を設定しない場合は、「発信者番号通知サービス (P.283)」の設定で電話をかけます。

## 1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた P.116

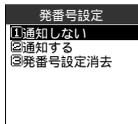
同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

を押して設定したい電話番号を表示する

## 2 機能メニューから「発番号設定」を選ぶ



## 3 設定したい項目を選ぶ



相手に電話番号を通知しない場合

「通知しない」を選ぶ

「非通知」と表示されます。

「186 / 184」がついた電話番号の場合、「186 / 184」が削除されます。

相手に電話番号を通知する場合

「通知する」を選ぶ

「通知」と表示されます。

「186 / 184」がついた電話番号の場合、「186 / 184」が削除されます。

発番号設定を解除する場合

「発番号設定消去」を選ぶ

「186 / 184」がついた電話番号の場合、「186 / 184」が削除され、「発信者番号通知サービス (P.283) の設定となります。

### おしらせ

「通知」/「非通知」を設定して電話をかけると、「発信履歴」、「リダイヤル」の情報に「通知」/「非通知」が付加されます。

電話番号をダイヤル入力したときや、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話番号を表示させたときも、同じように発番号を設定できます。

FOMA端末を開くだけで、電話番号を表示するようにします <オート表示>

お買い上げ時 OFF

待受画面表示中に折り畳んだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示するように設定できます。を押すだけで、表示された電話番号に音声電話をかけることができます。電話をかけない場合は、、またはを押すと待受画面に戻ります。

オート表示に指定できる電話番号は1件です。メールアドレスは指定できません。

FOMAカードに登録された電話帳は指定できません。

「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳は指定できません。

各機能の操作中や文字の入力中にFOMA端末をいったん閉じて再度開いた場合、およびシークレット専用モード時は、オート表示に指定した電話番号は表示されません。

オート表示中に、同じ電話帳に登録されているほかの電話番号を選ぶことはできません。

## オート表示機能を有効にします

### 1 「ディスプレイ」▶「オート表示」の順に選ぶ



指定した電話番号をオート表示させる場合

「ON」を選ぶ

オート表示させない場合

「OFF」を選ぶ

## オート表示させる電話番号を指定します

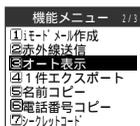
### 1 指定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた P.116

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

 を押して指定したい電話番号を表示する

### 2 機能メニューから「オート表示」を選ぶ



「オート表示」に「」が付きます。

オート表示の指定を解除する場合

機能メニューから「オート表示」を選ぶ

指定が解除されて「」が消えます。

### おしらせ

次のような場合、本機能の設定は無効になります。

- ・ PIMロック設定中
- ・ 指定発信制限が設定されている場合
- ・ オールロック設定中
- ・ 音声通話中
- ・ シークレット専用モード設定中

## メールアドレスにシークレットコードを設定します

シークレットコード(『アプリケーション編』のP.239)を登録している相手にiモードメールを送る場合は、相手のシークレットコードをメールアドレスに添付する必要があります。メールアドレスにシークレットコードを設定しておく、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に添付されます。

電話番号だけを宛先としてiモード端末にiモードメールを送るための、電話番号にシークレットコードを設定することもできます。

メール送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけ、シークレットコードが添付されます。ほかのメールアドレスにはシークレットコードを添付できません。

FOMAカードに登録された電話帳には設定できません。

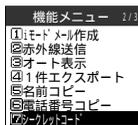
### 1 設定したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた P.116

同じ電話帳に複数の電話番号またはメールアドレスが登録されている場合

を押して設定したい電話番号またはメールアドレスを表示する

### 2 機能メニューから「シークレットコード」を選んで端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.193

### 3 「コード設定」を選ぶ



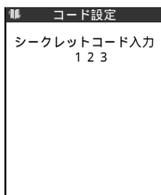
設定したシークレットコードを確認する場合

「コード参照」を選ぶ

設定したシークレットコードを解除する場合

「設定解除」を選ぶ

### 4 4桁のシークレットコードを入力する



「0000」には設定できません。

# 電話帳を削除します

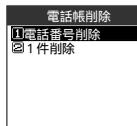
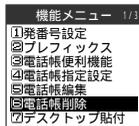
登録した電話帳を削除できます。また、電話番号、メールアドレス、住所、メモ、静止画、動画を選んで各項目ごとに削除することもできます。

## 1 削除したい電話帳の詳細画面を表示する

電話帳の検索のしかた P.116

電話番号やメールアドレス、住所、メモ、静止画、動画だけを削除する場合  
⊖を押して削除する項目を表示する

## 2 機能メニューから「電話帳削除」を選ぶ



電話帳を削除する場合

「1件削除」を選ぶ

操作1で表示させた項目のみ削除する場合

削除する項目に合わせて「電話番号削除 / メールアドレス削除 / 住所削除 / メモ削除 / 静止画削除 / 動画削除」を選ぶ

### おしらせ

「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話帳を削除できません。シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと削除できません。

## グループ設定

# グループ名を変更します

お買い上げ時 FOMA端末(本体): グループ01~19  
FOMAカード: グループ01~10

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、また「野球」や「陶芸」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。

変更できるグループと登録できる文字数は次のとおりです。

	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末(本体)	グループ01~グループ19	全角で10文字、半角で21文字
FOMAカード	グループ01~グループ10	全角で10文字、半角で21文字

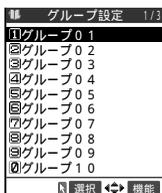
「グループ00」のグループ名は変更できません。

FOMA端末(本体)の電話帳のグループ01~グループ19には「グループ便利機能」を設定できます。 P.120

## グループ名を変更します

1   「グループ設定」の順に選ぶ

2 名前を変更したいグループを選ぶ



3 グループ名を入力する



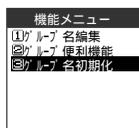
FOMAカードのグループには「」がつきます。  
FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名をつけた場合でも、別々のグループとして表示されます。  
文字の入力のしかた P.298

## グループ名を初期化します

変更したグループ名を初期化して、お買い上げのときのグループ名に戻します。

1   「グループ設定」の順に選ぶ

2 初期化したいグループを反転表示して機能メニューから「グループ名初期化」を選ぶ



### お知らせ

グループ名を初期化しても、そのグループに設定した「グループ便利機能」の設定は解除されません。

# 電話帳をFOMAカードに保存します

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりできます。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

データのコピー中または削除中は、音声電話やテレビ電話、メールの発信や着信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。

シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーや削除はできません。

FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。

コピーできる項目や登録件数については、P.106を参照してください。

## FOMA端末(本体)とFOMAカードの間でデータをコピーします

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で電話帳やSMSのデータをコピーします。

データをコピーしてもコピー元のFOMA端末(本体)やFOMAカードのデータは残ります。

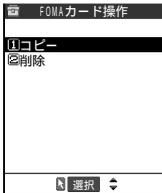
FOMAカードが差し込まれていない場合は、本機能を利用できません。

1   「FOMAカード操作」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

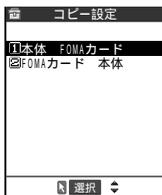
端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができないようになり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード操作を終了します。

端末暗証番号について P.193

2 「コピー」を選ぶ



### 3 コピーの方向を選ぶ



FOMA端末(本体)からFOMAカードへコピーする場合  
「本体 FOMAカード」を選ぶ

FOMAカードからFOMA端末(本体)へコピーする場合  
「FOMAカード 本体」を選ぶ

### 4 コピーしたい項目を選ぶ



電話帳をコピーする場合

「電話帳」を選ぶ

電話帳検索を行い、電話帳の一覧画面を表示させます。

電話帳の検索のしかた P.116

SMSをコピーする場合

「SMS」を選ぶ

「受信BOX / 送信BOX」から選び、SMSの一覧画面を表示させます。

### 5 コピーしたいデータを選んで [完了] を押す



電話帳の場合

### 6 「YES」を選ぶ



コピーしない場合

「NO」を選ぶ

コピーできないデータがある場合や、電話番号の桁数がFOMAカードに対応していない場合は、コピーするかどうかのメッセージが表示されます。

データのコピー中に転送先の最大登録(保存)件数を超えた場合は、データがいっぱいであることを通知するメッセージが表示されます。すでに登録(保存)されているデータの中で、不要なものを削除したあと、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。

FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号/メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2番目以降の電話番号/メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。1番目の電話番号/メールアドレスだけがコピーされ、アイコンが「☎」、「✉」になります。

FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、以下のように一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。

- ・FOMA端末(本体)の電話帳をFOMAカードにコピーする場合、絵文字はスペースに変換されます。
- ・FOMA端末(本体)のSMSをFOMAカードにコピーする場合、「♥」と「☎」以外の絵文字はスペースに変換されます。
- ・FOMAカードの電話帳をFOMA端末(本体)にコピーする場合、フリガナの「ㇿ(全角小文字)」は「ワ(半角大文字)」に変換されます。

ほかのFOMA端末で登録したFOMAカードのデータをコピーする場合、半角英数記号(「,」「-」「°」を除く)以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースに変換されます。

SMS report(送達通知)『アプリケーション編』のP.194)のみのコピーはできません。ただし、送信SMSのSMS reportを受信している場合は、送信SMSをコピーすると送信SMSに保存されたSMS reportもコピーすることができます。

電話帳の詳細画面を表示して機能メニューから「FOMAカードへコピー( FOMAカードの場合は「本体へコピー」)を選んで1件ずつコピーすることもできます。

SMSの詳細画面を表示するか一覧画面でコピーするSMSを反転表示して、機能メニューから「FOMAカード操作」を選ぶと、1件ずつ移動またはコピーすることができます。『アプリケーション編』のP.215

## 電話帳やSMSのデータを削除します

FOMA端末(本体)とFOMAカードのデータを削除します。

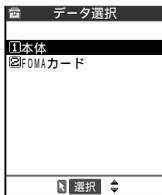
1   「FOMAカード操作」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.193

2 「削除」を選ぶ



### 3 削除したいデータの保存先を選ぶ



FOMA端末(本体)のデータを削除する場合

「本体」を選ぶ

FOMAカードのデータを削除する場合

「FOMAカード」を選ぶ

### 4 削除するデータを選ぶ



電話帳を削除する場合

「電話帳」を選ぶ

電話帳検索を行い、電話帳の一覧画面を表示させます。

電話帳の検索のしかた P.116

SMSを削除する場合

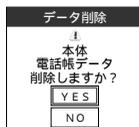
「SMS」を選ぶ

「受信BOX / 送信BOX」から選び、SMSの一覧画面を表示させます。

### 5 削除するデータを選んで [完了] を押す



### 6 「YES」を選ぶ



削除しない場合

「NO」を選ぶ

# 電話帳の登録状況を確認めます

電話帳に登録している件数や登録可能な件数などを確認できます。

1



「電話帳登録件数」の順に選ぶ

電話帳登録件数	
本体	
電話帳	200 / 700
シークレット	50
静止画	10 / 100
動画	10 / 100
追加残	画470 画630
FOMAカード	
電話帳	30 / 50

本体( FOMA端末に登録されている電話帳 )

電話帳 : 電話帳の登録件数を表示します。

登録されている件数 / 700( 登録できる件数 )

シークレット : シークレットデータとして登録されている件数を表示します。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示できます。

静止画 : 電話帳に登録されている静止画の件数を表示します。

登録されている件数 / 100( 登録できる件数 )

動画 : 電話帳に登録されている動画の件数を表示します。

登録されている件数 / 100( 登録できる件数 )

追加残  : 電話番号があと何件登録できるかを表示します。

 : メールアドレスがあと何件登録できるかを表示します。

FOMAカード( FOMAカードに登録されている電話帳 )

電話帳 : 電話帳の登録件数を表示します。

登録されている件数 / 50( 登録できる件数 )

## お知らせ

本体( FOMA端末 )の電話帳の登録件数は、シークレットデータの登録件数も含まれます。

## 電話の音を消します

周囲に迷惑がかからないように、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカーから出る音を鳴らさないように設定できます。

本機能の設定にかかわらず、静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音/終了音、セルフタイマーの開始音は鳴ります。

マナーモード設定中は、次の音を振動でお知らせします。

- ・着信音
- ・めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知音
- ・FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信/新着メールの確認音  
:「パイプレータ(P.167)の設定パターンで振動します。「パイプレータ」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。

マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選ぶことができます。 P.136

マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定した場合、その設定内容によっては音が鳴ります。

## 1 待受画面表示中または通話中に $\#397$ を1秒以上押す



マナーモードが設定されて「 $\mathbb{P}$ 」が表示されます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

マナーモード設定中は「 $\mathbb{P}$ 」のほかに、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

$\mathbb{V}$ 、 $\mathbb{V}$ 、 $\mathbb{V}$  : 「パイプレータ(P.167)でお知らせすることを示します。

$\mathbb{S}$ 、 $\mathbb{S}$ 、 $\mathbb{S}$  : 「着信音量(P.79)を「消去」に設定していることを示します。

$\mathbb{M}$  ~  $\mathbb{M}$  : 「伝言メモ(P.84)で録音するように設定していることを示します。数字は録音されている伝言メモの件数を示します。

### マナーモードを解除する場合

マナーモードが設定されている状態で、待受画面表示中または通話中に $\#397$ を1秒以上押す

マナーモードが解除されて「 $\mathbb{P}$ 」の表示が消えます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

着信中にマナーモードにします <クイック伝言メモ>

着信中に **[#39]** または **[1]** メモ / 確認 を押すと、マナーモードに設定され、同時に「伝言メモ ( P.84 )」へ移り、相手の用件を録音できます。

- ・「伝言メモ」が「ON」に設定されていなくても、「伝言メモ」へ移ります。
- ・マナーモード設定中の動作が「オリジナルマナー」で「伝言メモ」を「OFF」に設定していても、伝言メモに移ります。
- ・「伝言メモ」がすでに5件録音されている場合は、「伝言メモ」には移らずに「マナーモード選択」で設定したマナーモード設定中の動作になります。
- ・通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。マナーモードを解除するには **[#39]** を1秒以上押してください。
- ・「PIMロック」設定中は、マナーモードに設定しても伝言メモには移りません。

## マナーモード選択

# マナーモードを変更します

お買い上げ時    マナーモード

マナーモード設定中の動作を選ぶことができます。

お買い上げのとき、「オリジナルマナー」の動作は次のように設定されています。

- |             |               |              |
|-------------|---------------|--------------|
| ・伝言メモ：OFF   | ・バイブレータ：ON    | ・電話着信音量：消去   |
| ・メール着信音量：消去 | ・めざまし音量：消去    | ・メモ確認音：ON    |
| ・ボタン確認音：OFF | ・通話中マイク感度：アップ | ・低電圧アラーム：OFF |

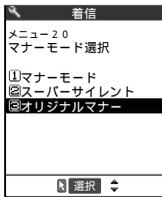
1



「着信」▶「マナーモード選択」の順に選ぶ

2

設定する項目を選ぶ



「オリジナルマナー」を選んだ場合は操作3に進んでください。

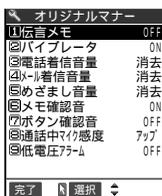
**マナーモード** : スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ(振動)でお知らせします。

ただし、受話口から鳴る確認音(音声メモやメモの再生/消去で **[1]** メモ / 確認 を押したときの確認音)は消去しません。

**スーパーサイレント** : スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ(振動)でお知らせします。

**オリジナルマナー** : お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定できます。マナーモード設定中に電話がかかってきたときの動作、めざまし時計のアラーム音量などをあらかじめ設定しておくことができます。

### 3 それぞれの項目を設定する



- 伝言メモ** : 着信中に伝言メモに入る / 入らない( ON / OFF )を設定します。  
伝言メモについて P.84
- バイブレータ** : 着信中およびアラーム通知を振動で知らせる / 知らせない( ON / OFF )を設定します。  
バイブレータについて P.167
- 電話着信音量** : 音声電話とテレビ電話の着信音量を設定します。  
着信音量について P.79
- メール着信音量** : メールやメッセージリクエスト / フリーの着信音量を設定します。  
着信音量について P.79
- めざまし音量** : めざまし時計のアラーム音量を設定します。  
めざまし時計について P.213
- メモ確認音** : 「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を鳴らす / 鳴らさない( ON / OFF )を設定します。
- ボタン確認音** : ボタン確認音を鳴らす / 鳴らさない( ON / OFF )を設定します。
- 通話中マイク感度** : 通話中のマイクの感度をアップする / しない (アップ / 標準)を設定します。
- 低電圧アラーム** : 電池切れアラームを鳴らす / 鳴らさない( ON / OFF )を設定します。

### 4 [完了]を押してオリジナルマナーを設定する

マナーモードに設定すると

各マナーモードは次のような設定になります。

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー (オリジナルマナーの設定項目を示します)
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「ON」に設定していても、本機能の「電話着信音量」を「消去」に設定している場合は、電池切れアラームは鳴りません。
通話中のマイクの感度	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
音声電話、テレビ電話の着信音量	消去		「電話着信音量」の設定値
メール、メッセージリクエスト/フリーの着信音量	消去		「メール着信音量」の設定値
バイブレータ	ON		「バイブレータ」の設定値
通話中 / 応答保留音	OFF		「電話着信音量」の設定値 「消去」以外に設定している場合は、小さい音で鳴ります。
伝言メモの起動	OFF		「伝言メモ」の設定値
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信 / 新着メールの確認音	OFF		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は、一定の音量でなります。
ボタン確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
めざまし時計のアラーム音量	消去		「めざまし音量」の設定値
スケジュール / ToDoのアラーム音量	消去		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの起動音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値

：通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。ただし、「カメラ」の動画撮影時には、マイク感度は「標準」になります。

### お知らせ

マナーモード設定中の動作をバイブレータでお知らせするように設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気(ストーブなど)に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。